



塩野義製薬株式会社のデータサイエンス部が主催するオンラインセミナーです。昨年続く第3回のテーマは「データサイエンスの進化とデータインテリジェンスの深化」です。生成 AI を代表に、急速な進化を続けるデータサイエンスは、企業活動への影響度を日々高めています。企業活動において、データサイエンスを『適切に活用していく』ためには、データインテリジェンスの深化が不可欠です。そのためには、ストレスフリーな解析環境を整備し、高い AI 倫理観と高い技術力を持った多様なサイエンティストを育成しマネジメントする必要があります。このテーマを深く皆さんと考えるために、今回講師として著名な方々をお招きし、ご講演いただきます。加えて、事例として当社データサイエンス部の実績や経験談等もご紹介いたします。

#### ◇開催概要

日時 : 2025 年 3 月 14 日(金) 10:00-17:00

参加費 : 無料

入場上限 : 3,000 名

※ Zoom の入場上限に達した場合、参加申込みされていても入場できません

参加方法 : [Peatix](#) から事前申込をお願いします (申込期限 3 月 12 日 24 時)

参加 URL は申込者にイベント前日にお送りいたします

※ 所属先が確認できない方は、参加をご遠慮いただいております

主催 : 塩野義製薬株式会社 DX 推進本部 データサイエンス部

開催形式 : オンライン開催 (Zoom Webinar)

※ イベント開催中の出入りは自由です

#### ◇このような方におすすめ

- ・ 医薬品開発・ヘルスケア関連ビジネスに関心のある方
  - ・ データサイエンス、アナリティクス、生成 AI を使う方もしくは興味のある方
- ※学生歓迎


2025年3月14日 10:00-17:00


タイムテーブル

開始	講演内容	所属	講演者
10:00	オープニング	塩野義製薬株式会社 DX 推進本部	出口 昌志
Session1:企業活動を支えるデータサイエンス			
10:10	(基調講演 1) 健康なまちづくり×健康経営のサポート ～ 日立システムズから日本ウェルビーイングコンソ シアムの活動への進化と事例紹介 ～	株式会社日立システムズ	長谷 正嗣
10:40	(基調講演 2) データで変わる健康管理！トヨタの新しい取り組み	トヨタ自動車株式会社	菅 敬介
11:10	休憩		
11:20	Personal Health Record を活用した 健康経営の取り組み	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	桂木 龍一 中野 紗希
11:50	データ駆動型の意思決定： シミュレーションと最適化がもたらす可能性	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	小林 雅行
12:10	休憩		
13:00	(特別講演) SHIONOGI におけるデータサイエンスの現在	塩野義製薬株式会社	手代木 功
Session2:データサイエンス最前線 - 生成 AI / AI 倫理			
13:10	(基調講演 3) 急速に進化する AI テクノロジーの 社会実装および AI 倫理	株式会社日立製作所	谷口 潤 吉田 順
13:50	休憩		
14:00	SHIONOGI における生成 AI の真価 ～ 全社データ活用と価値創出への道筋～	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	西村 亮平 松野 匡志
14:30	データサイエンスの進化で高まる データ倫理の重要性	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	木口 亮
14:50	休憩		
Session3:データサイエンスを支えるデータエンジニアリングの今			
15:00	(基調講演 4) データサイエンスを支える データエンジニアリングの重要性	株式会社 NTT データ	齋藤 祐希
15:30	SHIONOGI データサイエンスを支える データエンジニアリングと統合解析環境	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	坂井 聡
15:50	休憩		
Session4:多様なサイエンティストの育成とマネジメントのあり方			
16:00	(基調講演 5) 最強のデータ分析組織の仕事の流儀 ～大阪ガスにおけるデータサイエンス/ 人材育成の進め方～	大阪ガス株式会社	岡村 智仁
16:30	SHIONOGI のデータサイエンス人材戦略： コア人材育成と意思決定者教育の取り組み	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	吉田 祐樹 副島 涼
16:50	クロージング	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	北西 由武

## 講演概要


### ➤ Session1：企業活動を支えるデータサイエンス

タイトル	(基調講演)健康なまちづくり×健康経営のサポート ～ 日立システムズから日本ウェルビーイング コンソーシアムの活動への進化と事例紹介 ～	
発表者	長谷 正嗣 氏	
所属・役職	株式会社日立システムズ 執行役員 産業・流通事業グループ 副グループ長 兼 健康経営推進プロジェクト プロジェクトアドバイザー	
主な経歴	1990年 株式会社日立製作所 入社 2005年 株式会社日立ファルマエヴォリューションズ 事業企画センタ長 (現日立医薬情報ソリューションズ) 2015年 株式会社日立製作所 産業流通ビジネスユニット 医薬システム本 部長 2019年 日立ソリューションズ(中国)有限公司 副総経理 2022年 株式会社日立システムズ 現職に至る	
主な研究・ 業務内容	産業・流通系企業への情報システム導入・運用サービスの提供	
キーワード	Beyond SDGs、ウェルビーイング、PHR(Personal Health Record)、 自然に健康になれる環境づくり	
講演要旨	日立システムズのヘルスケア関連のサービス提供から、日本ウェルビーイング コンソーシアムを立ち上げ、ステークホルダーと連携した健康課題のソリューシ ョン・サービスへの進化と事例紹介。 今後、他の企業へ輪を広げた協創を通して、企業の健康経営を支援し、労働生 産性を向上するサービス展開を目指す。	

タイトル	(基調講演)データで変わる健康管理！ トヨタの新しい取り組み	
発表者	菅 敬介 氏	
所属・役職	トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部 健康安全 DX グループ長 兼 新事業企画部 ヘルスケア事業室 主査	
主な経歴	1990年 京都大学工学部卒業、同年トヨタ自動車(株)入社 東富士研究所にてエンジン及び車両の振動騒音の先行技術開発を担当 2001年 社内公募制度を利用しロボット開発部署に異動 愛知万博、上海万博などに出展したヒューマノイドロボットの歩行制御技術開発を担当 2017年 医療介護ロボット開発責任者として歩行リハビリロボット「ウェルウオーク」(トヨタ初の医療機器)を発売 2018年 未来創生センター Z-フロンティア部長 2020年 新事業企画部に異動してヘルスケア事業の検討 2021年 Woven Alpha(現 Woven by Toyota)に出向し Woven City のヘルスケア企画を実施 2022年より現職	
主な研究・業務内容	健康・安全・衛生領域における DX 化の企画・推進 ヘルスケア領域での新規事業企画	
キーワード	セキュリティ、個人情報保護、データ駆動型健康促進	
講演要旨	トヨタ自動車では「幸せの量産」を掲げ、その実現のために従業員の心身の健康維持にも積極的に取り組んでいきます。従業員のヘルスケア情報を一元管理し、データ連携や DX 化を進めることで、データに基づいた健康促進活動を展開しています。本講演では、個人情報保護やセキュリティの課題、DX 化の取り組み、節目健診でのデータ活用による具体的な健康促進事例について紹介します。	

タイトル	<b>Personal Health Record を活用した健康経営の取り組み</b>	
キーワード	Personal Health Record、健康経営	
講演要旨	SHIONOGI は健康状態の維持、早期発見・早期受診・早期治療、層別化を行うトータルケアサービスの実現を目指している。そのためには健康時からのデータが必要であり、Personal Health Record(PHR)は重要な位置づけである。本公演では PHR を含むヘルスデータを活用した事例を紹介する。特に健康経営について、従業員のワークエンゲージメントやストレスデータを活用した社内での PoC の取り組みについてお話す。	
発表者	<b>桂木 龍一</b>	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データエンジニアリンググループ サブグループ長	
主な経歴	九州大学大学院薬学府創薬科学専攻修了。2017 年に塩野義製薬株式会社へ入社。営業関連の業務(MR/KOL 対応/企画/推進/営業システム導入)を担当後、2021 年よりデータサイエンス部へ異動。現在は Personal Health Record 活用や健康経営関連の業務を行っている。また 2023 年より PHR サービス事業協会のライフログ標準化 WG リーダーを担当。	
主な研究・業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Personal Health Record の活用検討(健康経営を含む)</li> <li>・ データ利活用基盤の導入・運営</li> <li>・ 商用データベースを含む社内外データの収集・活用検討</li> <li>・ データウェアハウス、ダッシュボード構築</li> </ul>	
発表者	<b>中野 紗希</b>	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データサイエンス 2 グループ	
主な経歴	2020 年 3 月 広島大学 工学部第四類 卒業 2022 年 3 月 同大学院 先進理工系科学研究科 修了 2022 年 4 月 塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 入社	
主な研究・業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の勤怠・健康データ解析</li> <li>・従業員のエンゲージメント施策立案, DX 推進</li> </ul>	



タイトル	データ駆動型意思決定： シミュレーションと最適化がもたらす可能性	
発表者	小林 雅行	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 コンピュータサイエンスグループ	
主な経歴	東北大学薬学部卒業 同大学院医学系研究科 医科学専攻修士課程 修了 2019年 塩野義製薬入社 医薬事業本部 約3年間 MRとして営業に従事 2022年より DX推進本部データサイエンス部に異動 現在に至る	
主な研究・ 業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスケア事業におけるマーケティング支援およびエビデンス構築</li> <li>・量子技術の調査・検討</li> <li>・BIツールの運用および活用推進</li> </ul>	
キーワード	意思決定、シミュレーション/最適化、量子コンピュータ	
講演要旨	データを活用した意思決定は、シミュレーションや最適化技術の進展によって飛躍的に進化しています。本講演では、SHIONOGIにおける複雑なビジネス課題をデータで可視化し、最適な解を導くプロセスについて、事例を交えて解説します。また、量子技術がもたらす最適化の可能性にも触れ、未来の意思決定の在り方を探ります。	

タイトル	(特別講演) SHIONOGI における データサイエンスの現在	
発表者	手代木 功	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO	
主な経歴	1978年宮城県仙台第一高等学校卒業。1982年3月に東京大学薬学部卒業後、同年4月塩野義製薬株式会社入社(薬学博士:2001年)。1987年から2度にわたる7年間の米国勤務を経て、2002年6月取締役、2008年4月代表取締役社長就任。2022年7月より現職。2010年より大阪商工会議所副会頭、日本製薬工業協会会長、国際製薬団体連合会副会長、日本製薬団体連合会会長等を歴任。さらに2021年6月より株式会社三井住友銀行、2022年3月よりAGC株式会社、2024年6月より株式会社日本取引所グループの社外取締役に兼任、現在に至る。	
キーワード	ヘルスケア課題、DX 推進、データ利活用	
講演要旨	SHIONOGI が目指す Vision、およびその実現のために必要な SHIONOGI の変革と現在(いま)について、医薬品・ヘルスケア業界が直面しているヘルスケア課題を紹介するとともに、ヘルスケア課題解決に向けた変革の現在を、1)データ利活用基盤の整備、2)基盤整備からデータ活用拡大へのシフトチェンジ、3)人材育成という3つの観点から紹介する。	



➤ **Session2 : データサイエンス最前線 — 生成 AI / AI 倫理**

タイトル	(基調講演)急速に進化する AI テクノロジーの 社会実装および AI 倫理	
キーワード	データサイエンス、生成 AI、DX、AI 倫理	
講演要旨	データサイエンスや生成 AI の技術革新は急速に進んでおり、AI から創出される成果物の社会的インパクトは大きくなっている。また AI による成果物がもたらすリスクを低減し、安心・安全に活用する上で欠かせない「AI 倫理」への重要性が高まっている。そこで AI を社会実装した DX に関する取り組み(攻め)と、安全に運用するための AI 倫理の取り組み(守り)の両方についてご紹介する。	
発表者	谷口 潤 氏	
所属・役職	株式会社日立製作所 執行役常務 デジタルエンジニアリングビジネスユニットCEO/ 日立デジタル社CEO/ 日立アメリカ社取締役社長兼CEO	
主な経歴	<p>1995 年 4 月:株式会社日立製作所 入社</p> <p>2006 年 4 月:トータルソリューション事業部 産業・流通システム本部医薬システム部 主任技師</p> <p>2013 年 1 月:社会イノベーション・プロジェクト本部 ソリューション推進本部 産業・流通システム本部 医薬・食品システム部 担当部長</p> <p>2013 年 10 月:社会イノベーション・プロジェクト本部 ソリューション推進本部 グローバルプロジェクト本部 医薬・食品システム部部長</p> <p>2017 年 4 月:サービス&amp;プラットフォームビジネスユニット 制御プラットフォーム統括本部 情報制御第三本部 担当本部長</p> <p>2018 年 4 月:サービス&amp;プラットフォームビジネスユニット制御プラットフォーム統括本部 情報制御第三本部 本部長</p> <p>2019 年 4 月:日立グローバルライフソリューションズ株式会社 取締役社長</p> <p>2022 年 4 月:執行役常務 サービス&amp;プラットフォームビジネスユニットCOO/日立デジタル社CEO</p> <p>2023 年 4 月:執行役常務 デジタルエンジニアリングビジネスユニットCEO/日立デジタル社CEO</p>	





2024年4月:執行役常務 日立デジタル社CEO/日立  
アメリカ社取締役社長兼CEO

2025年2月:執行役常務 デジタルエンジニアリングビ  
ジネスユニットCEO/日立デジタル社CEO/日立アメリ  
カ社取締役社長兼CEO

発表者

吉田 順 氏

所属・役職

株式会社日立製作所

Generative AI センター センター長  
兼 Chief AI Transformation Officer



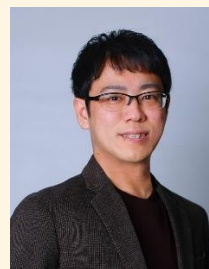
主な経歴


1998年:株式会社日立製作所入社  
2018年:同社 AIビジネス推進部 部長  
2021年:同社 Lumada Strategy 部長  
2021年:同社 Lumada Data Science Lab. co-  
leader  
2023年:同社 Data & Design 本部 本部長  
2023年:同社 Generative AI センター センター長  
2023年:同社 Chief AI Transformation Officer  
(CAXO)

主な研究・  
業務内容

1998年日立製作所に入社。2012年、AI/ビッグデータ利活用を支援する  
「データ・アナリティクス・マイスター・サービス」を立ち上げる。


タイトル	SHIONOGI における生成 AI の真価 ～全社データ活用と価値創出への道筋～	
キーワード	生成 AI, LLM	
講演要旨	生成 AI 技術の進化は、ライフサイエンス業界の多様な業務プロセスに革新的な変化をもたらしています。Generative AI グループでは、事業部門と密に連携して全社共通の AI インフラ開発、研究開発の効率化、意思決定プロセスの高度化など、幅広い分野における応用に取り組んでいます。本講演では事例をいくつか紹介しながら、生成 AI 技術の現状と将来の可能性について探っていききたいと思います。	
発表者	西村 亮平	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 Generative AI グループ グループ長	
主な経歴	<p>2007 年: 某システムインテグレータ入社、アプリケーション開発の上流工程・PM</p> <p>2013 年: スキー場パトロール、中小企業”ひとり SE”、ASP 事業者”何でも運用屋” など</p> <p>2018 年: シオノギデジタルサイエンス入社、全社システム/インフラの企画・導入推進</p> <p>2022 年: 塩野義製薬 DX 推進本部 IT&amp;デジタルソリューション部 へ転籍、全社システム/全社インフラの企画・導入推進・戦略管理グループにてマネージャ</p> <p>2024 年: データサイエンス部へ異動 Generative AI グループマネージャ</p>	
主な研究・業務内容	Generative AI グループのマネジメント	
発表者	松野 匡志	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データサイエンス 2 グループ	
主な経歴	<p>2004 年: 塩野義製薬に入社(MR 職)</p> <p>2012 年: 営業人材開発部に異動(MR 職採用担当)</p> <p>2016 年: シオノギ総合サービス(当時)に出向 (SHIONOGI グループ全職種の採用担当)</p> <p>2020 年: データサイエンス部に社内公募異動</p>	
主な研究・業務内容	生成 AI を用いた社内各種ソリューション開発のプロジェクトリード	




タイトル	データサイエンスの進化で高まるデータ倫理の重要性	
発表者	木口 亮	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 コンピュータサイエンスグループ グループ長	
主な経歴	2014 年 4 月 塩野義製薬株式会社 解析センター 2020 年 4 月 塩野義製薬株式会社 データサイエンス室 2021 年 7 月 塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	
主な研究・ 業務内容	・IT 技術とデータサイエンスの融合 ・社内の他部署に対するデータサイエンス支援活動 ・医薬品開発・精神神経領域(CNS 領域)でのデータサイエンティスト業務	
キーワード	データ倫理、MLOps、AI-act	
講演要旨	AI/機械学習の技術革新は急速に進み、データサイエンス活動で創出される成果物の社会的インパクトは高まっている。この状況下で意識しなければならないのが倫理観である。製薬企業を含むヘルスケア産業におけるデータサイエンス活動で創出するエビデンス・システム・サービスは人々の健康に寄り添うものであり、その一連の活動には、高い倫理観、具体的にはデータ倫理が必要である。本発表では、弊部の事例と各種データ倫理関連の規制を踏まえ、これからのデータサイエンス活動を考える。	

➤ **Session3** : データサイエンスを支えるデータエンジニアリングの今

タイトル	(基調講演)データサイエンスを支える データエンジニアリングの重要性	
発表者	齋藤 祐希 氏	
所属・役職	株式会社 NTT データ ソリューション事業本部 デジタルサクセスソリューション事業部 データマネジメントPF統括部 課長	
主な経歴	NTT データにおいて、クラウドエンジニア/データエンジニアとして活動。 AWS、Databricks よりトップエンジニアの認定を受けている。 2022 - 2024 APN AWS Top Engineers / All AWS Certifications Engineers 2022 - 2024 Databricks Partner Champion	
主な研究・ 業務内容	データパイプラインの開発、データ分析基盤などデータ利活用に関わるシステム開発に 10 年以上従事。最近では AI の活用を促進するため、データエンジニアとデータサイエンティストの連携を円滑にする MLOps・LLMOps に注力。	
キーワード	データエンジニアリング、データインテリジェンス、MLOps/LLMOps	
講演要旨	本講演では、AI 時代におけるデータエンジニアリングの重要性と、求められるスキル・能力について解説します。最新トレンドを踏まえ、ビジネスにおけるデータの戦略的価値とデータエンジニアリングの役割を探ります。特に、昨今急速に発展している AI エージェント技術に注目し、その活用におけるデータエンジニアリングの重要性と将来性について詳しく論じます。最後に、データサイエンスとの協働がもたらす組織のデータ活用力向上について考察します。	

タイトル	SHIONOGI データサイエンスを支える データエンジニアリングと統合解析環境	
発表者	坂井 聡	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 コンピュータサイエンスグループ サブグループ長	
主な経歴	<p>2011-2013年 塩野義製薬へ中途入社(前職は、外資系製薬会社)</p> <p>2013-2019年 マーケティングのプロダクトマネジャーとして、新薬のプレローンチから上市後まで担当</p> <p>2019-2021年 営業企画で、営業部門のシステム導入プロジェクトを担当</p> <p>2021- データサイエンス部で統合解析環境の AWS クラウド環境への構築プロジェクトをリード</p>	
主な研究・業務内容	国内外の統合解析環境の構築と運用、CSV(Computerized System Validation)活動など	
キーワード	データエンジニアリング、クラウド環境、協創型データエコシステム	
講演要旨	<p>塩野義製薬のデータサイエンス部には、データサイエンティストやデータエンジニアが多数在籍し、日々協力しながら業務を遂行している。高度化・多様化するヘルスケアニーズやビジネスニーズに対応するため、「スピード」、「フレキシビリティ」、「コラボレーション」をキーワードに統合解析環境を AWS クラウド環境に構築した。新たに生成 AI についても今後成果創出に貢献できる当環境について、既存の事例交えて紹介する。</p>	

➤ **Session4** : 多様なサイエンティストの育成とマネジメントのあり方

タイトル	(基調講演)最強のデータ分析組織の仕事の流儀 ～大阪ガスにおけるデータサイエンス/人材育成の進め方～	
発表者	岡村 智仁 氏	
所属・役職	大阪ガス株式会社 DX 企画部 ビジネスアナリシスセンター所長 兼 データ活用基盤統括チームマネジャー	
主な経歴	2001年 大阪ガス株式会社入社 2018年 同社 DX 企画部ビジネスアナリシスセンター所長 2022年 同社 DX 企画部データ活用基盤統括チームマネジャー兼務、現在に至る	
主な研究・業務内容	2001年入社以来、エネルギー消費データ分析をはじめとし、エネルギー会社のサプライチェーンにまたがる様々なデータ分析業務を経験。2018年より、データ利活用にて社内のデジタルトランスフォーメーション(DX)を牽引するミッションに従事。	
キーワード	データ利活用プロジェクトの進め方、データサイエンス人材に求められるスキル	
講演要旨	大阪ガスにてこれまで長年進めてきたデータ利活用の取り組みを通して得られた知見とは何か、どのようなデータサイエンス人材を育成しようとしているのか、データ利活用を進めていく上で大切にしている事についてお話しします。	

タイトル	<b>SHIONOGI のデータサイエンス人材戦略： コア人材育成と意思決定者教育の取り組み</b>	
キーワード	データサイエンス人材戦略、コア人材育成、意思決定者の教育	
講演要旨	SHIONOGI では、データサイエンスを意思決定に繋げるために、「コア人材育成」や「意思決定者の教育」を実施している。前者はデータサイエンティスト集団のコア人材に対する育成とその成果について解説する。後者は SHIONOGI 社内で実施しているマネージャー以上を対象にしたデータサイエンス教育について紹介する。	
発表者	<b>吉田 祐樹</b>	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データサイエンス 1 グループ グループ長	
主な経歴	2008 年に塩野義製薬株式会社に入社後、解析センターで統計解析職として、感染症領域、アレルギー領域等の医薬品の統計担当者として従事。2020 年にデータサイエンス部へ異動し、リアルワールドデータ、PHR の取得・解析にも従事。2021 年より現職。	
主な研究・業務内容	臨床研究、データベース、PHR 等の解析	
発表者	<b>副島 涼</b>	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データサイエンス 2 グループ	
主な経歴	東京大学薬学部卒。同大学院薬学系研究科修了。塩野義製薬株式会社に入社後は営業全般の業務 (MR/KOL 対応/企画/推進/マーケティング) を担当して、その後はデータサイエンス部に所属。	
主な研究・業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業戦略の策定支援</li> <li>・ 経営の意思決定の支援</li> <li>・ データサイエンス教育</li> </ul>	



昨年 2 月 29 日に開催した SHIONOGI DATA SCIENCE FES 2024 では、約 1,100 名の方にご参加いただき、ご好評のうちに終了いたしました。2023 年に開催した初回イベントレポート及びアーカイブ動画は [こちら](#)からご確認ください。

[連絡先]

◇ 本イベントに関するお問い合わせ

SHIONOGI DATA SCIENCE FES 事務局（塩野義製薬株式会社 DX 推進本部 データサイエンス部）

\* [こちら](#)からお問い合わせください。

\* お問い合わせ内容によって、ご返答に時間がかかる場合やお答えできない場合がございます。予めご了承ください。